

協働

第1号 2023年9月24日

町田市教育委員会

指導課長 大山 聡

発行：町田市学校支援センター

学校支援ボランティアコーディネーター説明会・交流会

本年度の地域学校協働活動は、新規着任者9名を含む総勢103名のボランティアコーディネーター（VC）の支援によって推進されます。

そのスタートとなる2023年度学校支援ボランティアコーディネーター説明会が、4月24日（月）・26日（水）の2日間に分かれて、教育センターの大会議室で開催されました。

両日とも、まず初めに、ご来賓の町田市教育委員 関根美咲様よりご挨拶いただきました。次に指導課を代表し、大山聡指導課長がご挨拶されま



した。挨拶の中では、新たに任命されたVC、継続されるVC、地区統括VCの皆様にご挨拶するとともに、町田市教育委員会として、2021年度、新たにスタートしたコミュニティスクールでの地域学校協働活動において、各校のVCの皆様が重要な役割を果たしてくださっていることに、改めて感謝の意を伝え、今後への期待を述べられました。

新規委嘱を受けたVCには、大山指導課長から直接委嘱書が授与されました。引き続き、末原統括指導主事が、「地域学校行動活動本部が全校設置される本年、その出会いの場、ふれあいの場の設定に力を尽くしてくださる98名のVCのみなさんの存在は、ますます大きな意味をもつものとなっていきます。学校運営協議会の充実、地域学校協働活動の推進にご協力をよろしくお願いいたします。……」とお話しし、さらに、2023年度事業について、活動の意義・目的や進め方、事務処理手続きなどを中心に学校支援センターGVCの岡田より説明させていただきました。

続いて、VCの定型業務、事務処理等についての説明、そして環境政策課3R推進係からの「ごみと環境についての出前講座」、FC町田ゼルビアからの「ふれあいゼルビア学校訪問」についての説明がされました。最後に、各地区のサポート役となる地区統括VCがそれぞれに紹介され、代表の統括VCから挨拶があり、説明会は終了となりました。

休憩をはさみ後半は、交流会を実施しました。岡田 GVC の進行でグループワーク 1 「自己紹介」グループワーク 2 「あらたに導入されたクロムブックで身に付けたい 3 つのスキル」をテーマに話し合いを進め、今後の活動にクロムブックが活用されるよう研修を兼ねたグループワークとなりました。限られた時間でしたが、最後まで考えを交流している姿に活動への熱い思いを感じました。2 日間とも熱心に交流が進められました。



VC 基礎研修・クロムブック研修

主に 1・2 年目の VC を対象にした「学校支援ボランティアコーディネーター基礎研修」が 5 月 17 日（水）に町田市教育センターで行われました。講義と協議が受講者 9 名の参加のもとに進められました。報告書作成などの VC の定型業務、想定される活動のあれこれ、学校を知るための手立てのあれこれについてなど、基礎的・基本的な、しかし必須の活動の概要が事務局から説明された後、経験豊かな木曽境川小学校 VC・小山中央小学校 VC・相原小 VC・町田第 2 中学校 VC からそれぞれ実践の報告と助言がされました。また、新たに導入されたクロムブックの活用についての説明がありました。グループに分かれての協議・情報交換では、学校と VC とのかかわりの在り方、VC 間のそれも含めた情報の共有の工夫などについて深い話し合いが行われました。統括 VC からは、CS が導入されて学校運営協議会に参加する時に心掛けていること、連携・協働に関する助言も含め、地域の人々との交流を通し活動を持続可能にするための工夫が語られました。参加者からの振り返りでは、「継続で築いていけるきずなが、大きいと思いました。」「地域の方、PTA でのつながりがとても大事だということがわかりました。」「VC の横の連絡が重要だと思う。情報交換はたえず行いたい。」等の感想が寄せられました。

さらに、クロムブック研修会は、5 月 24 日（水）に町田市教育センターでクロムブック操作研修会が、午前、午後の 2 回に分けて全 VC 対象に開催されました。11 名の参加となりました。学校支援ネットワーク（MGN）から、新たに配置されたクロムブックの活用に向けての初歩的な研修です。「アダプターを差し込み、充電してみましよう！まずは、使ってみましよう！」からのスタートです。情報共有したい時のクラスルームの使い方についての実技研修、またクラスルームでの活動月報の作成方法の紹介、スケジュール機能の紹介などの講習が行われました。地域学校協働活動のポートフォリオとして生かすために、この後、学校支援センターと地区統括を中心にクロムブック研修会が開始されました。